

ご近所メルヘンRPG

ピーカーブー！

「ご近所メルヘンRPG ピーカーブー」用シナリオ

「ポケットにバイブルを」

プレイ人数：2～4人

シナリオ執筆：むー

◆あらすじ

学校の図書室には出会いがたくさん。胸躍る冒険譚、背筋が凍る怪談話、ロマンチックな神話に、見たこともない動物や植物。そして、本が大好きな新しいお友達。

ちょっぴりツンツンしているけれど、根はやさしい女の子と出会ったイノセントたちは、彼女から一冊の本を渡されます。けれどその感想を伝える前に、女の子は病気で学校に来られなくなってしまいました。その頃学校では、同じような病気でお休みする子供たちが増えていて…？

◆シナリオ説明

このシナリオは、導入イベント、情報イベント、固定イベント、オバケ屋敷のデータによって構成されています。

シナリオを遊ぶ場合、まず導入イベントを行ってください。導入イベントが終了したら、一日目の学校フェイズを開始します。

学校フェイズが終了したら、放課後フェイズの前に固定イベント「図書室の女の子」を発生させてください。その後、放課後フェイズの自由行動に移ります。

情報イベントには、調査を行う場所や人物とそこで起きるイベントが書かれています。イベントの判定特技については、自由に変更して構いません。

プレイ人数によっては、自由行動の回数や、最後のオバケとの戦闘で敵の数を変更してもよいでしょう。

◆導入イベント「朝の会」

イノセントが小学校に登校すると、朝の会が始まります。スプーキーは登場しても構いません。

▼セリフ

先生「今日はみなさんに連絡があります。図書室の先生が、しばらくお休みすることになりました。図書室の利用は今までどおりですが、貸し出しは昼休みだけになるので注意してください」

このイベントの終了後、「場所：図書室」の調査が可能になります。

◆固定イベント「図書室の女の子」

一日目の学校イベントが終わったら、このイベントが発生します。

今日は月に一度の校内清掃の日です。イノセントたちは図書室の掃除当番に当たっています。図書室へ向かうと、6年生の女の子が全員が揃うのを待っていました。

▼セリフ

女の子「あなたたち、5分前行動って言葉を知らないの？ これじゃあ掃除を終わらせるのが遅れちゃうわ！」

ここで《計画性》、もしくは掃除に関係する技能で判定を行い、成功すると女の子はPCたちを見直しますが、失敗するとさらに怒ってしまいます。

このイベントの終了後、「人物：図書室の女の子」の調査が可能になります。

◆固定イベント「マリーのお見舞い」

「図書室の女の子」、「保健室」の情報を手に入れると、このイベントが発生します。

保健室の先生から、学校をお休みしているマリーの家にプリントを届けてほしいとお願いされます。

マリーの家に行ったイノセントは、若い女の人に出迎えます。彼女はマリーの家庭教師のトリシャといいます。忙しいマリーの父親に変わってマリーの看病をしているのだそうです。トリシャはマリーの友達が訪ねて来たのは初めてだと喜び、部屋へ通してくれます。

▼セリフ

トリシャ「昨夜から寝たきりなのです。たまに目を覚まして、ずっとぼんやりとしていて…。お医者さまは疲れが出たのだろうとおっしゃっていましたが、心配で心配で」

マリーを心配するトリシャ。そこへ、マリーの父親が帰宅する。

▼セリフ

トリシャ「まあ、旦那様ですわ。きっとマリー様が心配で帰ってらしたんでしょう」
マリーの父親は、PC 達がマリーの見舞いに来てくれたことにとても感謝します。

▼セリフ

父親「ありがとう、あの子を心配してくれて。学校のことはあまり話さない子だから、
上手くやれているのか心配だったんだ。けれど、こうしてお友達が見舞いにき
てくれて安心したよ。これからもあの子と仲良くしてやってほしい」

父親「私は仕事ばかりで、あの子をあまり構ってやれなかったからな…私に心配かけま
いと、体調が悪くても無理をしていたんだろう。まったく、父親失格だ」

※ここでマリーが父親とトリシャからきちんと愛されていることを PC たちに伝えてく
ださい。

◆情報イベント「図書室」

場所：図書室

判定：《読書》

「場所：図書室」について調べると、手に入る情報です。

成功：図書室の女の子と遭遇します。

PC も本が好きなのだと思った女の子は、掃除の時間とは違って嬉しそうに本の話
をします。そして、PC のことを気に入った彼女は一冊の手製本を渡します。

▼セリフ

女の子「あら、あなたも本が好きなの？ 私もなの。休み時間はたいてい図書室に
いるよ。ねえ、あなたはどんな本を読むのかしら？」

女の子「あの…これ、私が書いたものなんだけれど…よかったら、読んでみてくれ
ない？ 誰かに感想を聞きたかったの」

PC が本を受け取ると、女の子は嬉しそうにお礼を言って去って行きます。

このイベント終了後、「物品：手製の本」「場所：図書室2」の調査が可能になります。

失敗：この学校の図書室は他の学校の比べてもずいぶんたくさんの本が置いてあること
が分かります。

◆情報イベント「図書室2」

場所：図書室

判定：《おしゃべり》

※「図書室」と同日には調査できません。

「場所：図書室2」について調べると手に入る情報です。

成功：黒い服の女の人と遭遇します。

何者なのか尋ねると、臨時の図書室の先生だと名乗ります。

女の子が着ていないか尋ねると、見ていないと答えます。

このイベント終了後、「人物：黒い服の女」の調査が可能になります。

失敗：図書室は鍵がかかっている、入ることができません。

◆情報イベント「図書室の女の子」

場所：どこでも

判定：《うわさ話》

「人物：図書室の女の子」について調べると、手に入る情報です。

成功：6年生のマリーという女の子だということが分かります。

成績優秀で、テストではいつも一番。ピアノや習字も得意で、なんでもできる優等生。けれど友達がなくて、いつも図書室で本を読んでいるそうです。

また、保健委員でもある彼女は、保健室でもよく姿を見かけます。

このイベント終了後、「場所：保健室」の調査が可能になります。

失敗：6年生のマリーという女の子じゃないか、ということが分かります。

◆情報イベント「保健室」

場所：保健室

判定：《手当て》《ウソつき》

「場所：保健室」について調べると手に入る情報です。

成功：保健室の先生から、マリーについての話を聞くことができます。

▼セリフ

先生「マリーはね、本当は優しい子なんだ。だけど、自分に厳しい子でね。いつも優秀じゃなきゃいけないと思いついでいるんだよ。そのせいで、他の子にも厳しく接しがちで、避けられてしまうんだ。できればきみは、これからも仲良くしてあげてほしい」

また、近ごろ学校を休んでいる子が多いことも聞くことができます。

▼セリフ

先生「最近、学校を休んでいる子が多いみたいだね。一日中眠ったままで、起きていてもぼんやりして返事をしないんだとか。まるで魂を抜かれたみたいだって聞いたよ」

失敗：お休みの保健委員の代わりに、お仕事を手伝わされてしまいます。

◆情報イベント「黒い服の女」

場所：職員室、教室

判定：《マナー》《うわさ話》

「人物：黒い服の女」について調べると手に入る情報です。

成功：先生に新しい図書室の先生について尋ねると、そんな人は雇っていないと言われます。

また、最近休んでいる子が図書室で黒い服の女の人と話していたのを見たという情報が入手できます。

失敗：先生に尋ねても、そんな人には心当たりがないと言われます。

◆情報イベント「手製の本」

場所：どこでも

判定：《読書》

「物品：手製の本」について調べると手に入る情報です。

成功：本の内容が分かります。

お話の内容は、一人の女の子が悪い魔女に眠らされてしまった街を救うために旅立つファンタジーです。女の子は旅の途中で、悪い魔女は「ほんとうのなまえ」を知られると途端に弱くなってしまふことを知ります。

冒険の末に、悪い魔女のほんとうのなまえ、「キリエ・エレイソン（この魂に憐れみを）」を手に入れた女の子は、魔女との戦いに打ち勝ち、街の平和を取り戻すのでした。

この情報を手に入れた場合、最終戦闘での「ひみつを暴く」に+2の修正を与えます。

失敗：本はなかなかの大作なので、途中で休憩を挟んでもう一度読むことにします。

◆情報イベント「悪い魔女」

場所：どこでも

判定：《推理》、オバケ占い

情報イベント「保健室」、「黒い服の女」の判定に成功した時に発生するイベントです。

ふたつの情報が揃った場合、すぐに判定をさせてください。

成功：黒い服の女がオバケであり、図書室で子供たちの魂を吸い取っているのだということが分かります。

このイベント終了後、「オバケ屋敷」へ向かうことができるようになります。

失敗：なにかが繋がりそうな気がするのですが、あと少しのところまで手が届きません。

◆オバケ屋敷

このシナリオのオバケ屋敷は図書室です。部屋数は5で、1部屋目と5部屋目に固定イベントが設定されています。PLの人数によって、部屋数は調整してください。

○固定イベント「エントランス」

1部屋目のイベントです。図書室に入ると、そこはまるで大きなお屋敷の玄関のように姿を変えていました。

そこへ現れた黒い服の女は、余裕をもってPCたちを迎えます。

▼セリフ

黒い服の女「いらっしゃいませ、わたくしの図書館へ。貴方がたも本の世界へ行きたいのですか？」

女は、本の中へ閉じ込めた子供たちはこんなに幸せそうだとPCたちに見せつけます。女が開く本のページに浮かび上がる子供たちは、「ここにはお母さんやお父さんを独り占めする妹がないのよ！」「厳しい先生がいなくて自由に過ごせるんだ」などと口にします。

ここで《ウソつき》で判定させてください。成功すると、今のは女が見せた幻で、本当は子供たちはむりやり本に閉じ込められていて、家に帰りたがっていることが分かります。

それを指摘すると、女は残念そうな表情を浮かべて奥の部屋へと去って行きます。

○固定イベント「閉架書庫」

5部屋目のイベントです。オバケ屋敷のいちばん奥まで行くと、マリーを閉じ込めた本を手にした黒い服の女がいます。

マリーは現実に帰りたくないと訴えます。

▼セリフ

マリー「誰も私のことなんて気にしてないのに、現実に戻ったって意味がないじゃない！ 私には友達もいない、お母様もいない、お父様だって仕事ばかり、家には仕事で仕方なく私の面倒を見ている家庭教師しかいないんだもの！」

もしもこの台詞を先ほどのような幻ではないかと疑うPCがいたら、今のはマリーの本心であることを伝えてください。判定を行わせても構いません。

ここで、PCたちにロールプレイで説得させるか、《優しさ》で判定を行わせてください。GMがロールプレイに納得する、もしくは判定に成功した場合は、マリーは父親とトリシャが自分を愛してくれていること、ここまで助けに来てくれたPCたちという友達がいることに気づき、家に帰りたいたいと口にします。

そこでマリーを返したくない黒い服の女は本性を現します。

ハグレオバケ（黒い服の女）との戦闘になります。（PL 人数が多い場合は、手下のオバケを増やしてください）

ハグレオバケの【魔力】が0になると、コバケ状態になります。この状態になれば、もう悪さはできないでしょう。

○黒い服の女

レベル：1 攻撃力：1 魔力：15

弱点：《勇気》

特殊：【お助けカ1】

魔法：《エナジードレイン》《のぞきみ》

◆エピローグ「お話の続きを」

無事に子供たちの魂を解放したPCたち。マリーも元気に登校しています。

いつものように図書室にいるマリーの元へ向かったイノセントたちは、マリーに本の感想を伝えました。

▼セリフ

マリー「本当に読んでくれたのね…その、ありがとう。本のことだけじゃなくて、その、あなたたちは…私にとっては初めてのお友達で…もちろん、あなたたちが嫌じゃなければだけど！」

マリー「私、ちょっとだけ現実から逃げたくなっていたの。でも、あなたたちがいるから、もっとあなたたちと仲良くなりたいと思ったから、逃げちゃだめだって思えたのよ」

マリー「そうだ、あの本の続きを考えたの。今度は、女の子と仲間たちのお話よ。その仲間たちっていうのが、ちょっぴり変わっていてね…」

マリーは楽しそうにお話の続きを語って聞かせます。ちょっぴり変わった仲間たちというのは、どこかイノセントやスプーキーたちに似ているような気がしました。

新しいお友達が作る新しいお話は、やがて一冊の本になって子供たちのポケットに詰められることになるかもしれませんが…それはまた、別のお話。

◆最後に

浅美裕子さんの「ポケットに聖書（バイブル）を」をイメージして作ったシナリオです。

もし遊びづらいところがあれば、どんどん修正してください。

このシナリオは自由にご利用ください。リプレイや動画の作成、公開も大歓迎です。その際は、どこかにシナリオ名を表記していただければ嬉しいです。